

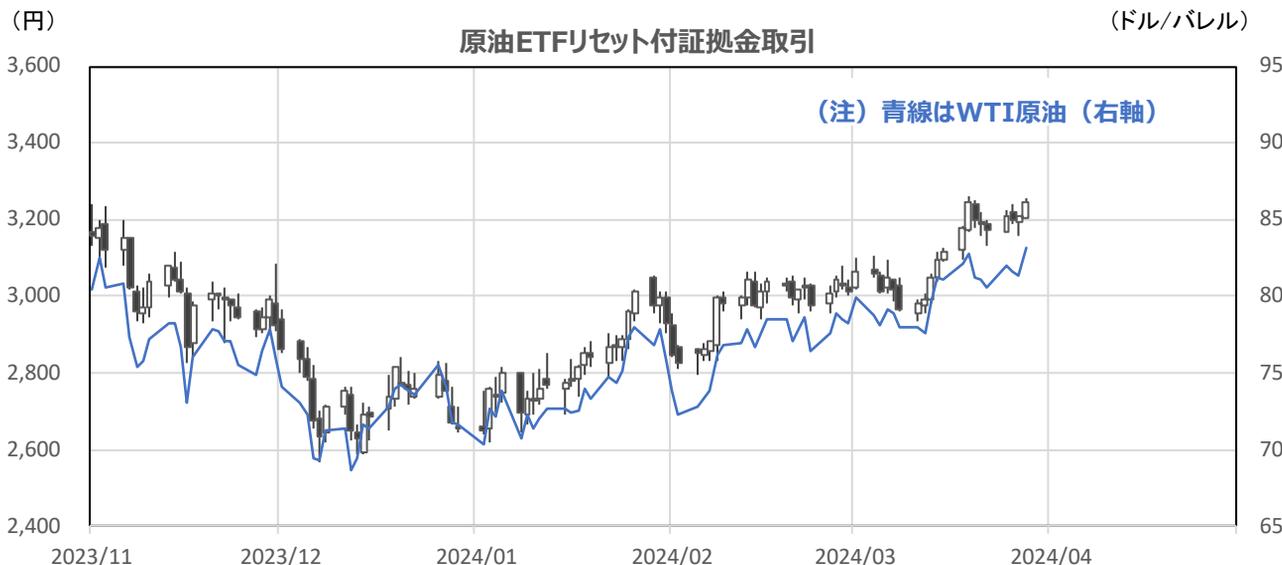
# 原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

2024/04/01号

マーケットエッジ株式会社 小菅努



## 【現状確認】



(出所) Refinitivよりマーケットエッジ作成

## 80ドル台前半で売買が交錯する

NY原油先物相場は、1バレル=80ドル台前半で底固く推移する展開になった。週を通じて新規売買材料は乏しかったが、地政学環境が不安定化していることが、引き続き原油相場の下値をサポートしている。イスラエルとハマスの休戦交渉は進まない一方、ロシアとウクライナの間では互いのエネルギー関連施設を攻撃しあう動きがみられ、供給不安が高まっている。米原油在庫が3週間ぶりに増加に転じたことはネガティブだが、需給が適度に引き締まっているとの見方はポジティブ。80ドル台前半で明確な方向性は打ち出せなかったが、底固さを維持した。

ウクライナは3月に入ってからロシア石油施設に対する攻撃を強化している。Bloombergは3月14～20日の原油処理量が月初から日量40万バレル減少したと報じている。今後数週間は原油処理能力が落ち込む見通しであり、ロシアに留まらず世界のガソリンやディーゼルの供給環境に混乱が生じるリスクが高まっている。

米エネルギー情報局 (EIA) 発表の米石油在庫 (3月22日時点) は、原油が前週比317万バレル増、ガソリンが130万バレル増、石油精製品が119万バレル減となった。

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項 (ディスクレマー) をお読み下さい。

## 原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

## 【展望】

## ロシア情勢次第で85ドル試す可能性も、地政学リスクで底固い

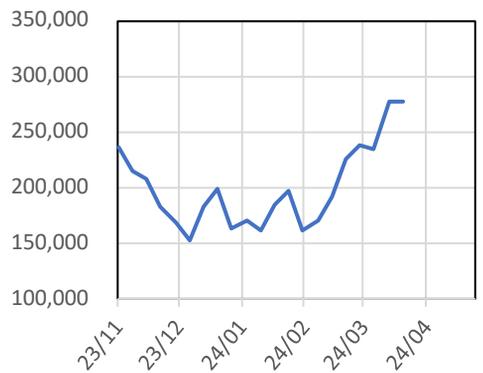
80ドル台前半の値位置に対する過熱感が薄れ、底固い展開が続く見通し。引き続き中東とロシア・ウクライナの地政学環境が不安定であり、期近限月を中心としたリスクプレミアム加算が支持される。需給見通しの改善もポジティブであり、瞬間的に85ドル突破を試す可能性もあろう。

4月3日には石油輸出国機構（OPEC）プラスの合同閣僚監視委員会（JMMC）の開催が予定されている。今会合では、特に政策調整の勧告などは行われな見通し。OPECプラスは1～3月期に続いて4～6月期も日量220万バレル規模の自主減産を継続することを決定済みであり、現時点では特段の政策調整は求められていない。原油相場に大きな影響を及ぼすようなことはないだろう。

引き続き注目されるのは地政学環境である。特にロシアとウクライナが互いにインフラ攻撃を強化していることで、ウクライナ軍がドローンやミサイルでロシア石油関連施設に対する攻撃を繰り返すと、期近限月から買いが膨らむ可能性が高まる。大手金融機関からも、原油価格の上振れリスクとしての指摘が増えている。

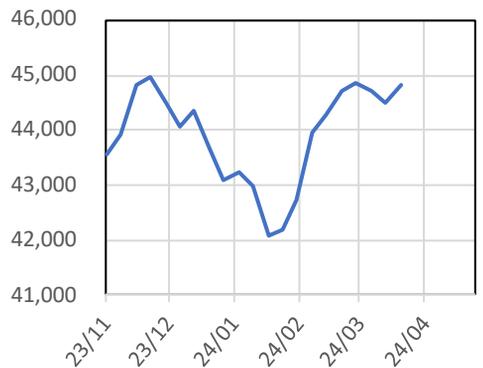
イスラエルはガザ地区南部で激しい戦闘を続けている。国連安全保障理事会は3月25日、ガザ地区での即時停戦と人質全員の即時・無条件の解放を止める決議を採択した。しかし、イスラエルは逆に態度を硬化させており、休戦合意が実現する見通しは立たない。このまま緊張状態が維持されると、80ドル台前半の価格水準が支持されよう。仮に休戦合意への期待感が強まると70ドル台中盤まで急反落する可能性を抱えているが、現時点ではその可能性が高いとは言い難い。

(枚) NY原油先物 大口投機筋ネット建玉



(出所) CFTCよりマーケットエッジ作成

(万バレル) 米原油在庫



(出所) EIAよりマーケットエッジ作成

(基) 米石油リグ稼働数



(出所) Baker Hughesよりマーケットエッジ作成

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレマー）をお読み下さい。

## 【ディスクレーム（免責条項）】

本レポートは、本取引所がマーケットエッジ株式会社から提供を受けて、公表しているものであり、本レポートの内容に関する一切の権利は、マーケットエッジ株式会社に帰属いたします。本取引所は、本レポートの正確性、完全性、適時性等を保証するものではありません。また、本取引所は、本レポートを用いて行う一切の行為及び本レポートに基づいて被った損害について、何ら責任を負うものではありません。

株式会社東京金融取引所

本レポートは、マーケットエッジ株式会社（以下、弊社）が、投資判断の参考となる情報提供を目的に作成したものです。金融商品売買の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行って下さい。本レポートは、弊社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したのですが、情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、本レポートに記載された見解や予測は、本レポート発行時における弊社の判断であり、全部または一部が予告なしに変更されることがあります。本レポートを使用することに生ずるいかなる種類の損失についても、弊社は責任を負いません。本レポートの著作権は、原則として弊社に帰属いたします。本レポートにおいて提供される情報に関して、弊社の承諾を得ずに、当該情報の複製、販売、表示、配布、公表、修正、頒布または営利目的での利用を行う権利を有しません。

【会社名】 マーケットエッジ株式会社（Marketedge Co., Ltd.）

【所在地】 〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町1-18-1（古川ビル4F）

【URL】 <https://www.marketedge.co.jp/>

【電話】 TEL : 03-6661-9498 【E-mail】 [info@marketedge.co.jp](mailto:info@marketedge.co.jp)

### 小菅努（こすげ・つとむ）プロフィール

1976年千葉県生まれ。筑波大学社会学類卒。商品先物会社の営業本部、ニューヨーク事務所駐在、調査部門責任者を経て、2016年にマーケットエッジ株式会社を設立、代表に就任。金融機関、商社、事業法人、メディア向けのレポート配信、講演、執筆などを行う。

最新情報は  
ツイッターで

